

令和3年度土浦市の予算

令和3年度は、ウィズコロナ・ポストコロナ時代において、いかにして「夢のある、元気のある土浦」の実現を図っていくかを見据え、改めて事務事業の抜本的な見直しに取り組む一方で、大きな一歩を踏み出し、未来に向かう予算を編成しました。

主な施策は、4月上旬号に掲載しています。

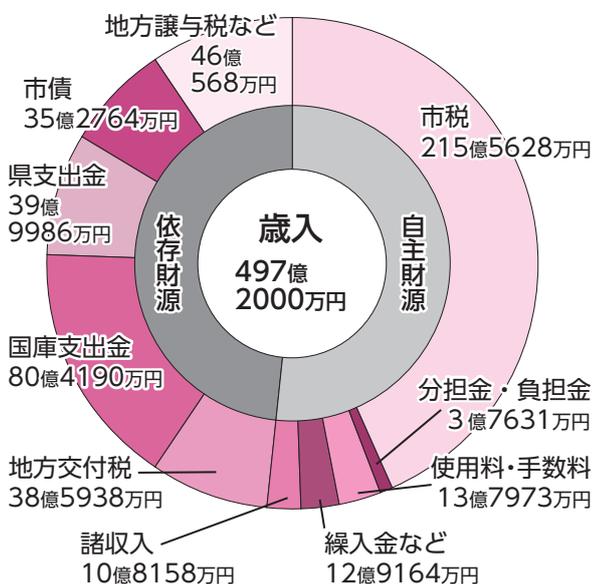
問財政課 (☎826-1111 内線2243)

一般会計：497億2000万円
(対前年度比1.9%減)

特別会計：410億8000万円
(対前年度比1.7%減)

全会計合計：908億円
(対前年度比1.8%減)

一般会計 歳入



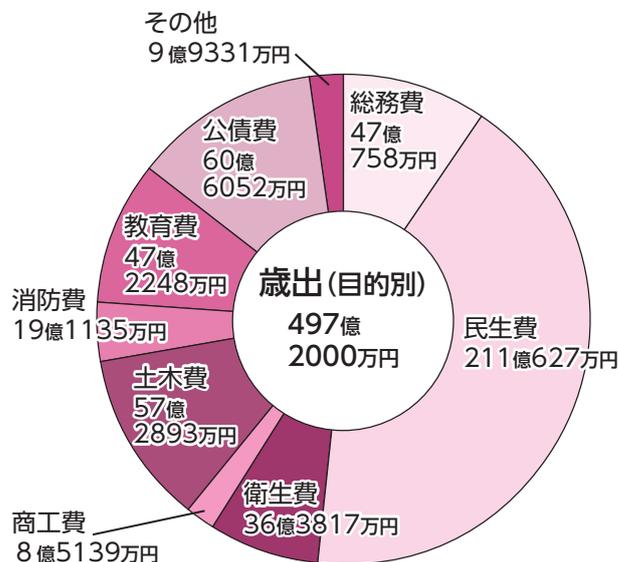
自主財源は、新型コロナウイルス感染症の影響による市税の減により、対前年度比5.4%の減となりましたが、平成30年度から引き続き、歳入全体の5割を上回りました。依存財源は、各種交付金や国庫支出金の増により、対前年度比2.1%の増となりました。

自主財源	
市 税	市民税や固定資産税などの税金
分担金・負担金	保育料など特定の受益者からのお金
使用料・手数料	公共施設の使用料や住民票発行などの手数料
繰入金など	基金からの繰入金や財産収入など
諸 収 入	延滞金など、ほかのどの区分にも属さないお金
依存財源	
地 方 交 付 税	財政状況に応じて国から交付されるお金
国 庫 支 出 金	特定の事業を行うため国から交付されるお金
県 支 出 金	特定の事業を行うため県から交付されるお金
市 債	多額の資金を要する際になどに借りるお金
地方譲与税など	国税のうち一部が市に譲与される地方譲与税、地方交付金など

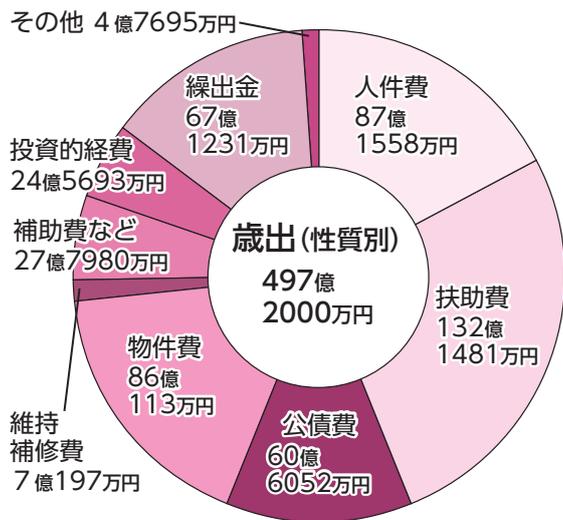
一般会計 歳出(目的別)

汚泥再生処理センター整備事業の完了により、衛生費は対前年度比31.5%の減となりました。また、学校給食センター再整備事業の完了により、教育費も対前年度比23.3%の減となりました。一方で、私立保育園運営事業、障害者自立支援給付費支給事業の増により、民生費は対前年度比4.1%の増となりました。

総務費	全般的な管理事務や徴税、選挙など
民生費	高齢者・障害者の福祉や子育て支援など
衛生費	保健衛生やごみ処理、環境保全など
商工費	商工業の振興や観光などの経費
土木費	道路・公園などの整備や都市計画など
消防費	消防団や消防施設整備など
教育費	学校教育や文化・スポーツなど
公債費	借入金の返済に要する経費
その他	議会費、農林水産業費、災害復旧費など



■ 一般会計 歳出(性質別)



人件費、扶助費、公債費で全体の約半分を占めています。これらは義務的経費と呼ばれ、歳入の状況にかかわらず支出しなければならない経費で、この割合が小さいほど財政の弾力性があるとされています。

人 件 費	職員の給料や手当などの経費
扶 助 費	児童や高齢者などを援助する経費
公 債 費	借入金の返済に要する経費
物 件 費	備品などの購入経費や委託料、光熱水費など
維持補修費	市の施設などの維持管理経費
補助費など	公益的な事業などに対する補助金や負担金
投資的経費	道路や施設の建設経費や災害復旧費など
繰 出 金	一般会計から特別会計に支出するお金
そ の 他	貸付金や出資金など

■ 特別会計 予算額

特別会計は、特定の事業を行う場合に、特定の収入と支出により、一般会計と分離して経理を行う会計です。

高齢化により後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の規模はそれぞれ、対前年度比7.4%、4.1%の増となっています。一方、公共用地先行取得事業が、過年度借換条件付発行債繰上償還金の皆減により対前年度比57.5%の減となり、特別会計全体の規模は対前年度比1.7%の減となりました。

会 計 名	予 算 額
公共用地先行取得事業	3億7073万円
駐車場事業	1億3229万円
国民健康保険	142億8939万円
後期高齢者医療	20億7356万円
介護保険	121億2676万円
農業集落排水事業	1億2130万円
下水道事業	73億3519万円
水道事業	46億3078万円
計	410億8000万円

行政の運営
3万4156円(総務費)



福祉の充実
15万3138円(民生費)



まちづくりの推進
4万1567円(土木費)



保健の充実や
快適な暮らしづくり
2万6397円(衛生費)



市民1人あたりの市の予算 … 36万747円

※令和3年3月1日現在の人口13万7825人で算出

消防活動
1万3868円(消防費)



教育の充実
3万4264円(教育費)



市債の返済
4万3973円(公債費)



商業や農業の振興など
1万3384円
(商工・農林水産業費など)

